

「新しい公共空間形成」とは

今まで公共サービスについては、行政が担ってききましたが、これからは「小さな自治体、そして大きな公共」へと移り変わっていきます。スマートシティ都留を目指すためには、官から民へとシフトチェンジしていかなければならず、今までの公共サービスの形態が変化します。そうした中で、行政が担う空間、市民などが担う空間が形成されることを「新しい公共空間形成」と言います(次の概念図を参照してください)。

「事業仕分け」開催

これまでの行財政改革の取り組みにより、行政のスリム化は進んでいます。しかし、公共サービスのあり方、特に、その担い手(行政がやるのか、市民団体・委託業者などがやるのか)の議論を深める必要があります。そこで、今年も市民と行政が一体となり、「新しい公共空間」の形成に向けた、地域協働、アウトソーシングなどの選別を行う「市民参画による『事業仕分け』」を10月3日(土)に開催する予定です。

困ったな。市役所に電話すれば“あれも、これも”やってくれるかな。



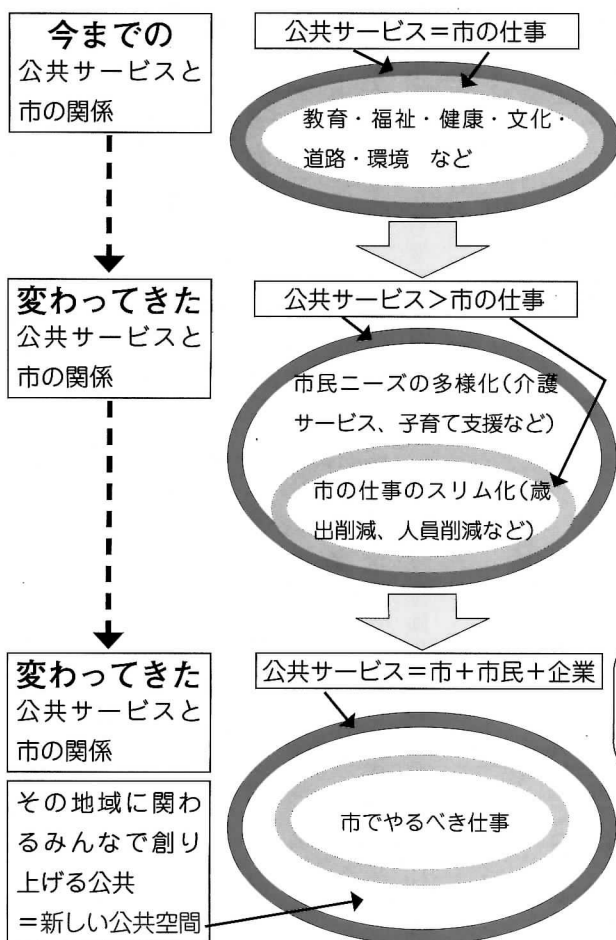
市の仕事かな？それとも民間の仕事かな？



これからは、市役所任せではなく、みんなで公共サービスを考えよう！



“新しい公共空間”概念図



「見せます！市の経営状況」

「スマートシティ都留2007」

(都留市自治体経営白書) 発刊

市の現状や実態、問題点などを包み隠さず「見せる」ことで、「見えてくる」課題を、市民と行政の協働の力で解決していくことを目的に発刊します。

「スマートシティ都留2007(都留市自治体経営白書)」は、財政状況や8つのアクションプランの進捗状況、さらには今後の課題や方向性などを総括的に掲載し、本市が実践している行財政経営について、アカウンタペリテイ(説明責任)を果たすとともに、市の現状や実態の「見える化」の第一歩として、

昨年引き続き発刊するものです。

自分が住んでいるまち、都留市の現状を知ること、よりまちづくりへの意識を高め「学び、発見、実践」などで創る「スマートシティ都留」の実現を目指していきたいと考えます。

「白書」をご希望する市民の方は、「住所・氏名(団体名)・電話番号」をご記入の上、FAX・メールまたは電話でお申し込みください。

申込・問合せ先 政策形成課 企画担当

FAX (45) 5005

Eメール kikaku2@city.tsuru.lg.jp

「白書」とは・・・政府の各省庁がその所管とする行政活動の現状や対策・展望などを国民に知らせるための報告書の名称であり、日本では昭和22年片山内閣が発表したのが最初です。英国政府の報告書が白表紙を用いたところから「白書」と言われています。

スマートシティ都留2007

(都留市自治体経営白書)

<平成19年度決算版>

～学び、発見、実践みんなで創るスマートシティ都留～
都留市

「スマートシティ都留2007 (都留市自治体経営白書)」

構成は、次のとおりです。

- I 都留市の計画
- II 市政の推進
個性あふれる施策の紹介
- III 市政の点検
特別寄稿
財務経営の現況
- IV 行財政改革の取り組み
行政改革の状況
職員定員管理の状況 など